

# シリーズ累計600万部突破！ メディアワークス文庫の大人気作品 『ビブリア古書堂の事件手帖』 最新第6巻 12月25日発売

株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原真樹、ブランドカンパニー長:塚田正晃)では、三上 延(みかみ・えん)著の大人気ビブリアオミステリ『ビブリア古書堂の事件手帖』シリーズを「メディアワークス文庫」より刊行しております。**12月25日(木)、最新第6巻『ビブリア古書堂の事件手帖6 ～菓子さんと巡るさため～』が発売となり、シリーズ累計部数が600万部を突破しますので、お知らせいたします。**

『ビブリア古書堂の事件手帖』は、鎌倉の古書店「ビブリア古書堂」のうら若き美貌の店主・篠川菓子(しのかわ・しおりこ)と、本が読めない無骨な青年・五浦大輔(ごうら・だいすけ)が、奇妙な客が持ち込む古書の謎と秘密を解き明かしていくビブリアオミステリです。夏目漱石『それから』や太宰治『晩年』など実在の名作が登場し、古書に関する蘊蓄や背景にある人間ドラマを丁寧な筆致で綴っています。

2011年3月にシリーズ第1巻となる『ビブリア古書堂の事件手帖 ～菓子さんと奇妙な客人たち～』を発行、多くの書店員から支持を集め、人気に火がつけました。同年10月にはシリーズ第2巻となる『ビブリア古書堂の事件手帖2 ～菓子さんと謎めく日常～』を発行。2012年1月にはシリーズ累計100万部を突破し、2012年本屋大賞に文庫初でノミネートされたほか、第65回日本推理作家協会賞短編部門ノミネート、本の雑誌が選ぶ2011年度文庫ベストテン第1位に輝きました。2012年6月にはシリーズ第3巻『ビブリア古書堂の事件手帖3 ～菓子さんと消えない絆～』を発行し、シリーズ累計300万部を突破。2013年1月に、フジテレビ月9にてTVドラマ化、翌2月にはシリーズ第4巻『ビブリア古書堂の事件手帖 ～菓子さんと二つの顔～』を発行し、シリーズ累計470万部を突破しました。2014年1月にシリーズ第5巻『ビブリア古書堂の事件手帖 ～菓子さんと繋がりの時～』を発行、シリーズ累計は550万部を超え、同年4月には第67回日本推理作家協会賞長編部門にノミネートされました。コミカライズも2誌で展開されており、カドカワコミックス・エース、アフタヌーンKCより単行本が発売中です。



↑ 最新第6巻表紙

第6巻では、太宰治にまつわる古書を取り上げます。太宰の稀覯本を巡る50年前のある事件と現在の宿命縁。その巡り合わせが主人公たちを深い謎に誘い、物語が展開していきます。読み終えた後に、また本が読みたくなる大人気シリーズ『ビブリア古書堂の事件手帖』の最新6巻にご注目ください。

## ■メディアワークス文庫『ビブリア古書堂の事件手帖』最新6巻について

【タイトル】ビブリア古書堂の事件手帖6 ～葉子さんと巡るさだめ～

【著】三上 延 【イラスト】越島はぐ

【ページ数】322ページ 【定価】本体570円＋税 【発売日】2014年12月25日

【発行】株式会社KADOKAWA 【プロデュース】アスキー・メディアワークス

【内容】

太宰治の『晩年』を奪うため、美しき女店主に危害を加えた青年。ビブリア古書堂の二人の前に、彼が再び現れる。今度は依頼者として。

違う『晩年』を捜しているという奇妙な依頼。署名ではないのに、太宰の自筆と分かる珍しい書きこみがあるらしい。

本を追ううちに、二人は驚くべき事実に出り着く。47年前にあった太宰の稀覯本を巡る盗難事件。それには二人の祖父母が関わっていたのだ。過去と現在、まるで再現されるかのような奇妙な巡り合わせに、薄気味悪さを感じる二人。それは偶然か必然か？ 深い謎の先にある真実とは？

## ■メディアワークス文庫『ビブリア古書堂の事件手帖』シリーズ既刊について



ビブリア古書堂の事件手帖  
～葉子さんと奇妙な客人たち～  
定価：本体590円＋税  
発売日：2011年3月25日



ビブリア古書堂の事件手帖2  
～葉子さんと謎めく日常～  
定価：本体530円＋税  
発売日：2011年10月25日



ビブリア古書堂の事件手帖3  
～葉子さんと消えない絆～  
定価：本体550円＋税  
発売日：2012年6月23日



ビブリア古書堂の事件手帖4  
～葉子さんと二つの顔～  
定価：本体570円＋税  
発売日：2013年2月22日



ビブリア古書堂の事件手帖5  
～葉子さんと繋がり之時～  
定価：本体570円＋税  
発売日：2014年1月24日

『ビブリア古書堂の事件手帖』特設サイト <http://biblia.jp>

『ビブリア古書堂の事件手帖』の作品内容、登場人物、舞台紹介のほか、「ビブリア検定」といった特別企画も掲載し、『ビブリア古書堂の事件手帖』の世界を堪能いただけるサイトとなっています。

## ■著者プロフィール

### 三上 延(みかみ・えん)

1971年神奈川県横浜生まれ。10歳で藤沢市に転居。  
市立中学から鎌倉市の県立高校へ進学。  
藤沢市の中古レコード店で2年、古書店で3年アルバイト勤務。  
古書店での担当は絶版ビデオ、映画パンフレット、絶版文庫、  
古書マンガなど。



## ■コミック版『ビブリア古書堂の事件手帖』連載媒体

### ASUKA

株式会社KADOKAWA 角川書店ブランドカンパニー

<http://asuka-web.jp/>

カドカワコミックス・エースよりコミックス1～6巻発売中

### good! アフタヌーン

株式会社講談社 <http://afternoon.moae.jp/>

アフタヌーンKCよりコミックス1～3巻発売中

## <ご参考>

### ■「メディアワークス文庫」とは

2009年12月創刊、アスキー・メディアワークスが贈るエンターテインメント・ノベル。恋愛、ミステリー、歴史など、さまざまなジャンルの小説を刊行しています。メディアワークス文庫からは、『ビブリア古書堂の事件手帖』（著／三上 延、最新6巻含めてシリーズ累計発行600万部）、『0能者ミナト』（著／葉山 透、累計発行53万部）、『神様の御用人』（著／浅葉なつ、同40万部）、『探偵・日暮旅人』シリーズ（著／山口幸三郎、同37万部）、などのヒット作品が生まれています。毎月25日発売。

●メディアワークス文庫公式サイト: <http://mwbunko.com/>

### ■アスキー・メディアワークス ブランドカンパニーとは

アスキー・メディアワークスなど事業会社8社が、KADOKAWA合併後もそれぞれのブランドのもとで自由に事業を展開、発展させていくための新しい組織概念が『ブランドカンパニー』です。

アスキー・メディアワークス ブランドカンパニーは、「電撃」「アスキー」「魔法のいんど」の3つのブランドを軸に、エンターテインメント分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

●KADOKAWAオフィシャルサイト: <http://www.kadokawa.co.jp/>

●アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー 公式サイト: <http://asciimw.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】  
株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー  
事業推進局  
<http://asciimw.jp/>